授業科目名·形態	健康教育論 講義	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	藤田 碧	実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにする過程において、地域に暮らす人々が自らの健康を守り高めるための力を高めることは大切な取り組みです。ヘルスプロモーションの理念に基づいた健康教育・健康学習を提供する上で、看護職に必要な姿勢、知識・一連の展開技術について演習を通じて学びます。

【到達目標】

- 1. ヘルスプロモーションと公衆衛生活動のストラテジーについて説明できる
- 2. 健康の社会的決定要因と公衆衛生の取り組みについて説明できる。
- 3. 健康に関する行動変容に関する基礎理論のうち代表的なものについて説明できる。
- 4. 個人や家族が自らの健康管理を学習する際に、理論を踏まえて学びを導くための看護者の役割を説明できる。
- 5. ヘルスプロモーションの理念を踏まえた健康教育の企画、実施、評価の一連を実施できる。
- 6. 健康教育の実践一連を通じて、人々の保健行動をエンパワメントする上での看護職の役割について説明できる。

【授業計画・内容】

第1回 健康の概念とヘルスプロモーション

第2回 健康の社会的決定要因と公衆衛生看護活動

第3回 健康教育と保健行動、健康教育に用いる基礎理論

第 4 回 健康教育の方法

第 5 回 健康教育の計画:健康課題の探求と対象者の理解

第7回 健康教育の実際:目標を実現する健康支援の立案

第9回 健康教育の実際:指導案・媒体の検討

第11回 健康教育の実際:指導案,媒体の作成

第13回 健康教育の実際:リハーサルとブラッシュアップ

第15回 健康教育の実際: グループ発表と学びの共有

第6回 健康教育の計画:目標と評価指標

第8回 健康教育の実際: 企画の構想と具体化

第10回 健康教育の実際:指導案・媒体の作成 第12回 健康教育の実際:指導案・媒体の改善

第14回 健康教育 グループ発表

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

教科書や配布資料の読み込み、授業内で提示する資料類の閲覧。第5回目からは身近な健康課題を題材とした健康 教育を行うグループワークをします。自分たちの取り組む健康課題について、生理的なメカニズムはもちろん、栄養・運動・休養や社会面まで視野を拡げて、積極的に自己学習・相互共有をし、共同作業を進めてください

【主な関連する科目】

「公衆衛生看護技術論」「公衆衛生看護学実習」などの公衆衛生看護学の科目

【教科書等】

荒賀 直子・後閑 容子 ら編 「公衆衛生看護学.jp 第6版」インターメディカル,2024

【参考文献】

佐伯和子ほか:公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護の方法と技術第2版, 医歯薬出版株式会社,2022 厚生統計協会編「国民衛生の動向 2023/2024 年」2023

【成績評価方法】

受講態度等 (5%), 演習内容・提出課題 (25%), 定期試験の成績 (70%) による総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政や NPO 等の保健師、事業所等を巡回しての特定保健指導の業務委託など、多彩な形で健康教育や個別相談を 行ってきました。健康教育手法のみでなく、看護職者が対象者の願いや生活背景を知ることの大切さを伝えます。

【学生へのメッセージ】

この授業では在学中の幅広い学び・実習、そして看護職として働く場で活用できます。また学びを通じてみなさん自身の健康管理の力が高まることも願っています。共によき学び愛をする時間にしましょう。